学校と地域を結ぶお元気情報 NO. 9
大仙市立神宮寺小学校
学校支援地域コーディネーター
2010年7月21日発行

おいだらぼっち

題字 1年 佐藤快南　　絵 2年 渡邊泰成

おいだらぼっちは神宮寺嶽を背負ってきた心やさしい伝説の巨人

夏休みがチャンス！
山・川のにおいと豊かな色、緑陰と水面のクーラー
親子でたっぷり自然をあじわいませんか？

感性を育てる、という言葉をよく聞きます。
感性って何なのでしょうか？。芸術や文学などの表現のすぐれた人を、感性豊かな人というのが一般的ですが、感性の本来の意味はそのような特殊な能力ではないのです。
「広辞苑」には「・外界の刺激に応じて感覚・知覚を生じる感覚器官の感受性。・感覚によってよび起こされ、それを支配する体験内容。従って、感覚に伴う感情や衝動・欲望を含む」、ややこしく説明してありますが。この中の大切な言葉は「知覚を生じる感覚器官の感受性」「感覚によってよび起こされ、それを支配する体験内容」だと考えます。つまり、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚の能力を高める事が感性を育てる事だったのです。

美しい自然の映像を見て私たちは感動します。けれどもそれは見る聞くだけ。それには自然にはない音楽まで付け足していますから、自然そのものではない別者です。

自然を体験するということは、自然を丸ごと自分の体に取り込む事なのです。手触り・匂い・風・木々の葉のそよぎの音・岩の触感・腐葉土のクッション、これらが丸ごと全身を包んで、人間の感性を育んでくれるのです。

「となりのトトロを一年間に１０回見た」という人がいました。それを聞いた作者の宮崎駿監督は、見ていただくのは有り難いが、**「となりのトトロを１０回見る機会があったなら、それを１回にして９回は野山を歩き味わって下さい。」と語っていました。となりのトトロの本当のねらいは「自然に浸ってほしいということ」だったのです。つまり、ヒトという生物として育って、健康な地球をとりもどしてもらいたい、ということなのです。**

スクールサポーター活動ありがとうございます！

【毎日の活動】登下校の見守り
【定期的活動】読み聞かせ活動(金)・図書室ボランティア活動(水)・ホームページの更新(月)
jinguji キャンデーズ踊り指導(火)・地域のお年寄りとのふれ合い活動
【６月】交通安全教室補助・危険箇所点検・地域教育協議会・花壇整備・空きビン空き缶回収作業支援
プール清掃支援・校外学習引率補助・６年梅、４年桜生活単元学習ゲストテイチャー
１年、２年生活科ゲストテイチャー・３年音楽ゲストテイチャー・２年図工ゲストテイチャー
３年松神岡図書館見学への説明・２年松町内めぐりへの説明・４年校外学習への指導補助
２年松道徳授業の打ち合わせ

ちょっとでかけてみませんか？

出羽丘陵の緑と雄物川の清流を一望に。雄物河畔が散策路のおすすめスポット！

散策路は中川原球場から川の上流へ進み、間倉までの区間です。片道約1キロ半往復3キロメートルの道のりです。ウッドチップで舗装した脚に優しい道。玉川橋の側からも、同じような道ができました。来年度には繋がる計画があるそうです。

川岸の道を観客席として出羽丘陵の緑と、オイダラボッチ伝説や、八幡太郎と阿部氏の戦いを学ぶ事もできます。菅江真澄の「月の出羽路」の絵図と現在と合わせて眺望すると得られるものが多いのではないでしょうか。

※子どもを抱きしめていますか。今日の話を聞きましたか。